

IFRSと日本基準の主要な会計基準差異(財務諸表の表示)

	日本基準	IFRS
財務諸表の様式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連結貸借対照表 ・ 連結損益及び包括利益計算書 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 単一の計算書方式又は2計算書方式の選択 ・ 連結株主資本等変動計算書 ・ 連結キャッシュ・フロー計算書 ・ 注記 ・ 連結附属明細表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連結財政状態計算書 ・ 連結純損益及びその他の包括利益計算書 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 単一の計算書方式又は2計算書方式の選択 ・ 連結持分変動計算書 ・ 連結キャッシュ・フロー計算書 ・ 注記
段階損益の表示	営業損益、経常損益、特別損益の区分あり。	経常損益、特別損益の表示区分なし。 営業損益を表示項目として開示する選択は可能。
非継続事業と売却目的保有資産の表示	基準なし。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非継続事業は、継続事業とは区別してone line（税引後損益）で表示。 ・ 売却目的保有の非流動資産又は処分グループ資産は、簿価と売却費用控除後の公正価値のいずれか低い方で測定。
その他の包括利益の表示	右記のような分類はない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「その後に純損益に振替えられる（リサイクリングされる）ことのない項目」と「その後に純損益に振替えられる（リサイクリングされる）項目」に分類して表示。